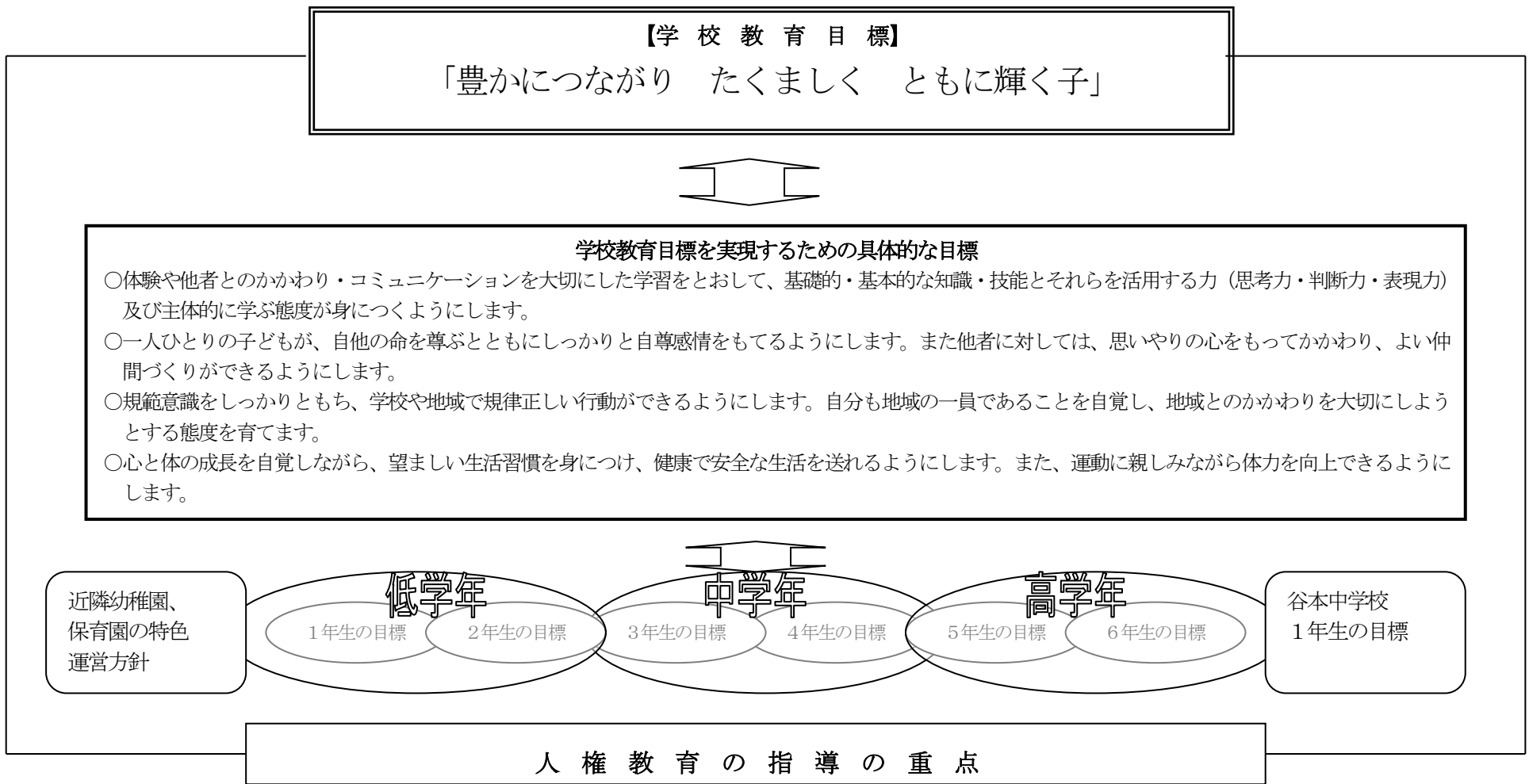


5. 人権福祉教育全体計画 構造図

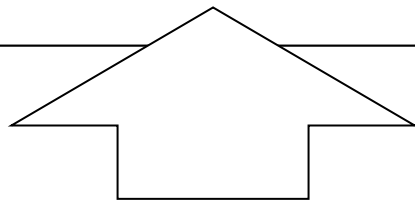


人権教育目標

ふれあいや福祉体験学習を通して、相手の立場になって考え、進んで思いやりのある行動がとれ、
支えあって生きていくことの喜びを味わうことのできる子の育成

低・中・高学年別人権教育目標

- 【低学年】一人ひとりが大切な友だちであることを理解し、仲良くする子を育てます。
- 【中学年】一人ひとりにちがいがあつことを理解し、相手の立場や気持ちを考え、行動できる子を育てます。
- 【高学年】一人ひとりがかけがえのない人間であることを理解し、相互の個性を尊重し合い、差別や偏見を許さない子を育てます。



活動計画・内容

<p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性を活かしながら、個に応じた指導と評価を行い、個の良さを認め、伸ばしていきます。学習の場での認め合い、協力の大切さに気づく子を育てます。 	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重の精神と自然や美・善に対する畏敬や憧憬の心情などを培い、望ましい生活習慣の育成を図ります。 	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を基盤として、信頼し合う集団の育成を図ります。 ・集団の一員として自覚と責任感を深め、より良い生活を築く実践的な態度を育てます。
<p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や交流活動を通じて、相手の気持ちを考えながら行動する態度を育てます。 	<p>国際理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの国の良さや違いを認め合い、共に生きる子を育てます。 	<p>地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人のために自分にできることを見つけ、共に生きようとする心を育てます。 ・地域の人々との交流活動を通して、地域や人との関わりを大切に子どもを育てます。